



イベント 終了しました

江戸歴史講座第34回 錦絵誕生250年記念 浮世絵と江戸の大地震～鯰絵とよみがえる情景

キーワード	日比谷カレッジ
内容	安政2年10月、江戸を未曾有の地震が襲いました。この時大量に出版された「鯰絵（なまずえ）」には、庶民の地震への恐れや祈りがユーモラスに描かれています。また、かのゴッホにも影響を与えた歌川広重の名品「名所江戸百景」シリーズにも、復興を遂げる市中の情景を報道する役割がありました。多色摺木版画の新技法「錦絵（にしきえ）」の創始から250年、安政の大地震から160年を経た今、鮮やかなスライドによる鯰絵や浮世絵の鑑賞を通じて、地震と江戸のメディア、そして江戸っ子の感性のしなやかさを、一緒に学んでみませんか？
日にち	2015年09月14日（月） 19:00から20:30
日にち説明	当日の受付開始 18:30～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（申込順）
参加費用	1000円（千代田区民500円）

講師・出演者	藤澤 紫
プロフィール	<p>■藤澤 紫（ふじさわ むらさき） 國學院大學文学部教授(特別専任)、国際浮世絵学会常任理事。 東京都生まれ。学習院大学大学院博士後期課程単位取得。博士（哲学）。 専門は日本美術史、日本近世史、比較文化論。 主な著作に『遊べる浮世絵 体験版江戸文化入門』（著書）東京書籍 2008年、『鈴木春信絵本全集』（編著書）勉誠出版 2003年改訂新版、『超越する異界』（共著）勉誠出版 2013年、『浮世絵の至宝 ポストン美術館秘蔵 スポルディング・コレクション名作選』（共著）小学館 2009年、『広重 名所江戸百景/秘蔵 岩崎コレクション』（共著）小学館 2007年、主な論文に「浮世絵におけるやまと絵と琳派受容—師宣、春信、そして北斎—」（『美術フォーラム21』29号 2014年 美術フォーラム21）、「名所絵の機能と広がり—「名所江戸百景」にみる都市景観図の「記録」と「記憶」—」（『國學院大學大学院紀要—文学研究科—第46号』2015年）などがある。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

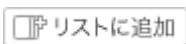
申込期間	2015年07月25日 00:00 から2015年09月14日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。
------	--

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2015年 09月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

発信日

2015.07.23



ツイート